



大関保育園の玄関に「和顔愛語」という言葉が書かれています。「わけんあいご」と読み、仏説無量寿経というお経さまの言葉です。

意味は大体お判りいただけるのではないのでしょうか。「和顔」の「和」とは「温（穏）和、柔和」と言われるように「穏やかで、柔らかい」という意味ですから「穏やかで優しい表情」が「和顔」になります。「愛語」の「愛」は「友愛、敬愛」と言われるように「相手を敬い、相手を大切に思う」という意味になりますから「相手を敬い、相手を思いやる言葉」が「愛語」になります。ペンギン組やハト組の子どもたちには「やさしい顔と、フワフワ言葉」って意味だよと答えています。「お友達や先生、お父さんやお母さん、み～んなにそんなやさしい顔とフワフワ言葉をつかってね～」と言っています。

私自身も、我が子や家族、子どもたちや先生方、保護者の皆さんにこのように接していきたいと意識しています。職員にも子どもたちや保護者に対して、そして同僚に対してこの言葉を常に意識するようと言っています。簡単なようで実は凄く難しい事だと思います。

私たち 1 人 1 人の生活の中に、新型コロナという暗い影が潜んでいる毎日です。みんな意識していきたい仏さまの言葉ではないかなあと思い、昨年夏ごろから掲載させて頂きました。どうですか、皆さんも「和顔愛語」始めませんか。

令和 3 年 4 月 14 日 文珠 康明